

ボーリング柱状図

調査名 一般国道184号外道路災害防除工事に伴う測量・地質調査・設計業
 務委託(単独) 一般国道184号外

ボーリングNo. 5 2 3 2 0 6 3 9 0 0 1

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor. No. 1		調査位置	広島県三次市管内一円			北緯	34° 41' 55.1821"									
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	平成30年 6月25日～平成30年 6月27日			東経	132° 52' 10.6200"								
調査業者名				主任技師				現代理人	コ 監 定 者								
ボーリング責任者				現場				コ 監 定 者									
孔口標高	T P 252.19m		角	180° 上 下 度		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		使用機種	試錐機 東邦D1-B型 エンジン ヤンマーNFD10型		ハンマー 落下用具	自動落下	
総掘進長	7.00m		度	0°		向			ポンプ	東邦BG-3C型							

標尺	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試験名及び結果	試料採取	室内	掘進
											深	10cm毎の	打撃回数	N					
251.99	0.20	0.20	砂礫	頭曹灰	淡黄褐	中へい	中へい	盛土。φ10~40mmの角礫が混じる中~粗粒砂。			1.00	4	6	16	16				
251.39	0.60	0.80	玉石混り砂	淡黄褐	中へい	中へい	盛土。φ10~40mmの角礫や垂角礫が混じる。礫間は細~中粒の砂質土で、まさ土状。層下部より掘削水は少量逸水する。			6.27 3.00	1.30	5	8	18	18				
248.69	2.70	3.50	礫混り砂	暗灰褐	中へい	中へい	産雜堆積物。φ5~60mmの角礫・垂角礫が不規則に混じる。礫間は細~中粒の砂・砂質土でやや緩い。少量の腐植物を伴う。掘削水の逸水が緩く。				2.15	4	4	13	21				
245.19	3.50	7.00	乾石混り砂質土	淡黄褐	非常に密な	非常に密な	産雜堆積物。φ10~70mmの角礫と長さ10~40cmの硬い乾石が不規則に混在する。礫・乾石間は概ね粒径の揃った細粒の砂質土で構成され、若干締まっている。礫・乾石の基質は硬い流紋岩が大半を占め、所々、風化した礫や乾石を挟む。深度3.50m付近から掘削水は全逸水する。				3.15	4	4	13	21				
											3.45	4.00	貫入不能	50	50				
											5.10	13	13	24	50				
											4.40	6.05	貫入不能	50	50				
											7.00	貫入不能	50	50					